allcinema

恐怖省（1944）

MINISTRY OF FEAR

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 86分
初公開日 1988/01/23
公開情報 ケイブルホーグ

【解説】

ナチの手を逃れアメリカに亡命したＦ・ラングは、そのナチの暗躍を描くスリラーで自らの絶頂期を形成した。「マン・ハント」「死刑執行人もまた死す」「外套と短剣」いずれも傑作だが、その白眉と言えるのが、Ｇ・グリーンの原作を基にした本作だろう。精神病院を退院したばかりの主人公がたまたま寄った慈善バザーで、占い師の予言に従ってケーキの重量当て競技に勝った事で奇妙な事件に巻き込まれる。謎が謎を呼ぶ展開に魅了され、ラングの影と光の魔術に酔う内、主人公と同じ視座で、背後にあるナチスの恐ろしい陰謀を観客も体感する。こんな“プロパガンダ”映画の生まれる国とは戦争など――今さらながらだが――すべきでなかった。そもそも腺病質タイプのＲ・ミランドが代表作「失われた週末」の直前にそのエキセントリック演技を披露していた事も特筆すべきだろう。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
製作	シートン・Ｉ・ミラー	Seton I. Miller
原作	グレアム・グリーン	Graham Greene
脚本	シートン・Ｉ・ミラー	Seton I. Miller
撮影	ヘンリー・シャープ	Henry Sharp
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young
出演	レイ・ミランド	Ray Milland
	マージョリー・レイノルズ	Marjorie Reynolds
	カール・エスモンド	Carl Esmond
	ダン・デュリエ	Dan Duryea
	アラン・ネイピア	Alan Napier
	アースキン・サンフォード	Erskine Sanford

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.